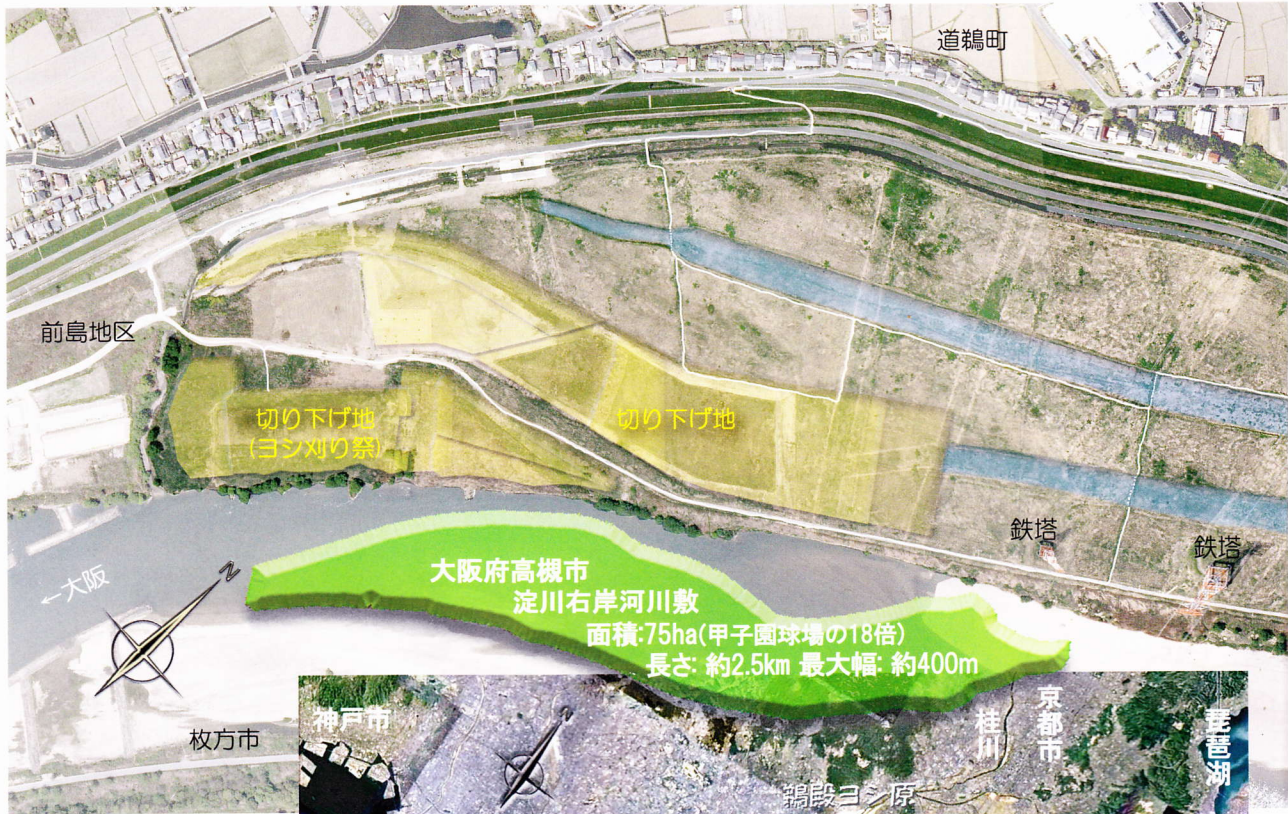
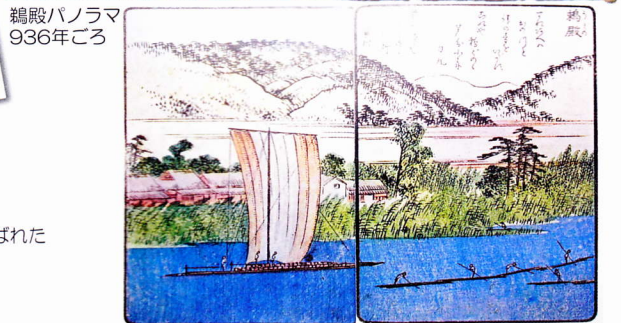
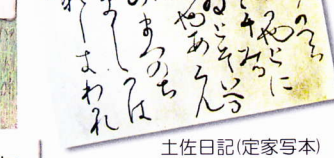
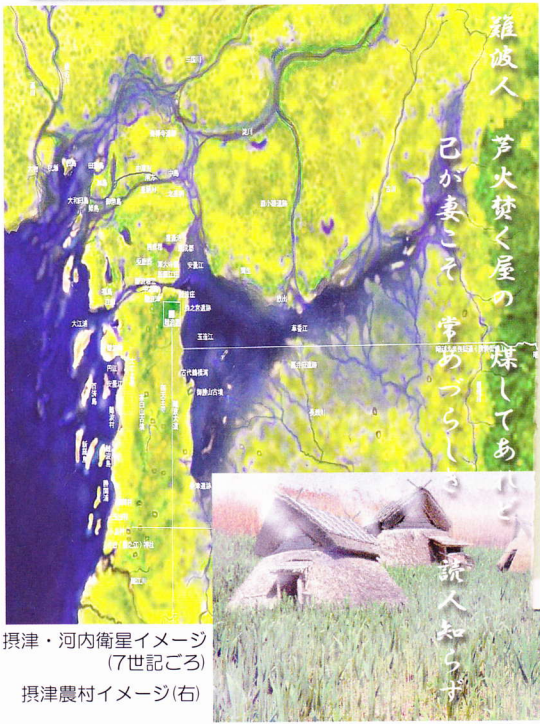


鶴殿ヨシ原の価値 歴史的景観

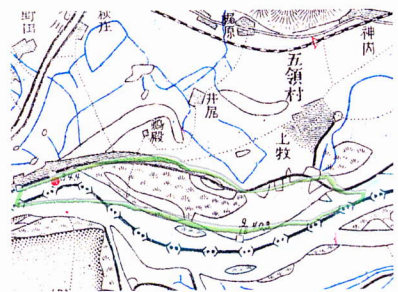


日本史を代表する歴史的景観



鶴殿年表

- BC88 崇神10 武甕槌の反乱軍は朝廷軍に破れ 流れる死体が鶴のようだったので鶴河(淀川)と呼ばれた
- AD611 推古19 百濟人の味摩之は 呉(中国江南)より伎楽を伝え 雅楽の原型となる
- 702 大和2 治部省雅楽寮(国立音楽大学)開校 箏の蘆古材料に最適のヨシを鶴殿で発見か?
- 901 昌泰4 右大臣菅原道真 左遷され大宰府へ下る途中鶴殿を河舟で通過
- 936 承平5 紀貫之左遷先の土佐より帰京を綴った「土佐日記」に鶴殿の名が記録として初登場 淀川舟運の重要な港として鶴河にある殿(旅籠)の意味で「鶴殿」に この前後に御伽草子の主人公一寸法師が摂津住吉浜より京へ上る途中立ち寄る?
- 1582 天正10 山崎(天王山)合戦で羽柴軍は秀吉を先頭に鶴殿ヨシ原を密かに駆け抜け勝利した 5mを越す鶴殿のヨシは馬上の槍も 旗指物も見事に隠し 一気に明智軍の側面に出た
- 1591 天正19 その秀吉は千利休に切腹を命じ その夜 利休は京から小舟で鶴殿を通過
- 1690 元禄3 「箏の蘆古は古より摂津国鶴殿に産する蘆を用いる」楽家録(安倍季尚著)とある
- 1799 寛政10 「摂津名所図会」に鶴殿村が蘆古用の蘆を朝廷へ献上している事が書かれている
- 1971 昭和46 建設省淀川改修開始 結果冠水がなくなり鶴殿は乾燥化しヨシが絶滅の危機
- 1976 昭和51 高槻市環境保全課の要請で小山弘道 鶴殿を調査 以後調査保全活動が続く



明治中ごろの淀川改修前の地図と現在の鶴殿地形

鶯の啼くや
鶴殿の河柳
葦村



鶴殿ヨシ原の価値
ヨシリよく
知らなかつた葦
か



ヨシ・あしどっち?

あしがヨシになったわけ
鎌倉時代中期 主に近江のヨシ
商人の間で「あし」は「悪し」
で縁起が悪い そこで反対の
「善し」と呼びだしこれが全国に
広まり「よし」が定着した
ようです
これを忌み言葉と言い 他にも
スルメを博打打ちの間では 磨
る目(サイコロ)の反対「アタリ
メ」と呼ぶなどがあります

明治に植物学が始まり ヨシを
採用 駄洒落が公用語になっ
たのです

どちらもOK
だからヨシとあしは同じ どちら
でも善し悪しはありません
植物学のときは「ヨシ」
文学や古典では「あし」と読
んでいます

鶴殿では ヨシ産地だったので
ヨシ原・ヨシ刈りなどヨシ
と呼びます

なにはがた
よしあしと
こと浦にすむ
あまのしわざを
前権僧正玄因

中国では 春は「葭」 夏の盛りは「蘆」(芦は略字) 枯れた冬は「葦」の漢字を充てます



人とヨシの文化



古代オリエントやエジプト シルクロードなど 人類文明発祥地
には ヨシ原があり ヨシを文化や生活に採り入れてきました
特に豊葦原の日本はヨシ原に恵まれ 煮炊きの燃料 屋根葺き材
料や庶民の家屋の重要な壁材でした
また 古代ヨシ原は信仰の対象 古事記や日本書紀で神代初期に
現れる神 ウマシアシカビヒコシノミコトは ヨシの芽を神格化
した生命の象徴であり 神社の屋根はヨシ葺きが古代の姿です
中国から伝わった陰陽思想でも ヨシは邪気(鬼)をはらうこと
から初詣でおなじみの破魔矢も本来はヨシの矢です
近年 ヨシ製品は中国からの輸入品が大半で こうした経済推移
も ヨシ原絶滅の要因です

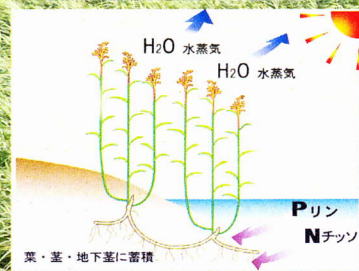
ヨシ(あし)

イネ科・ヨシ属
暖帯から亜寒帯に
かけて広く分布し
湖岸や河川などの
湿地帯に生育する
背の高い多年草
Phragmites australis
(communis)

古代より生活や歴
史に密着した植物
近年環境植物とし
て注目されている



ヨシは地球を救う

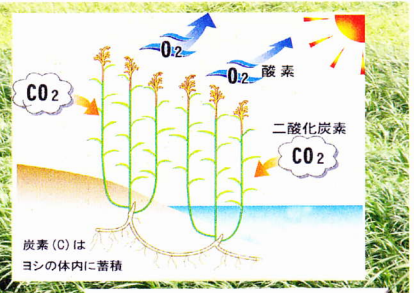


ヨシは水質浄化に役立つ植物のひとつです
水中に溶けているリンや窒素を根から吸収
室や地下茎に蓄積するので 水質浄化に役立
っています
そのほか重金属やダイオキシンなどの公害物
質などを固定する能力もあります

さらにヨシ本体に加え ヨシの表面のバクテ
リアや貝などの小動物も水質浄化に参加 ヨシ
原全体で水質浄化システムを構築しています



また ヨシの地下茎には地上の空気が循環する
ので根の先から酸素を泥の中に供給 そこに住
むバクテリアを活性化し 有毒なアンモニアガ
スを分解 空気中に逃す脱窒作用も重要です
鶴殿ヨシ原に流れる導水路では やや濁ってい
る淀川の水が ヨシの根元を通過する間に浄化
地下水となって再び淀川本流に還流していま
す これは巨大な水質浄化システムで その費用
対効果は計り知れません



ヨシは 地球温暖化の原因とされている二酸化
炭素を大量に吸い込み 体内に炭素を固定する
能力が極めて大きな植物
夏のヨシ原は光合成で盛んに作り出された酸
素が大量にあります
このようにヨシは体内に窒素やリン・炭素を
固定しているので ヨシを刈り取り 水辺から
他の場所に移すことが大切なこと
ヨシ刈りやヨシ製品は鶴殿を 地球を救います

ヨシ工作

